

対象者の特性に応じた用具を活用した移動動作技術

今回の交流セッションの目的は、用具を用いて楽に移乗介助を行うために応用編として、対象者の特性に応じた用具を活用した移動動作技術の実際を紹介しました。参加者は16名で体験しながら楽しく実演しました。活動の様子を報告します。

研修日程：2024年（令和6）年10月26日（土）13時15分～14時15分

会場：札幌市教育文化会館

第4会場（札幌市教育文化会館 研修室301）

開催方法：対面

技術研究成果検討委員 移動動作評価班班長 西田直子、
班員 水戸優子、若村智子、平田美和、首藤英里香、富田川智志、國澤尚子

研修内容：

- 1) 対象者の特性に応じたスライディングシートの活用(首藤英里香・患者役:平田美和)
- 2) 対象者の特性に応じたリフトの活用の実際 (富田川智志・モリトー)
- 3) リフトを活用した歩行支援の方法の実際 (富田川智志・モリトー)
- 4) 質疑応答

<交流セッションの様子>



西田班長からの挨拶



スライディングシートの
デモンストレーション



リフトを活用した歩行支援



首藤氏からの解説



会場内の様子

日本看護技術学会 第22回学術集会交流セッション②アンケート結果

参加者数15名 回答者数12名

表1 交流セッションに参加した目的はなんですか

(複数回答、%は回答数12を分母とし算出)

内容	人	%
テーマに興味があった	10	83%
対象者に応じたスライディングシートの活用について知りたかった	1	8%
対象者に応じたリフトの活用について知りたかった	2	17%
その他*	1	8%

*その他の内容：基礎教育にどのように取り入れるか検討したいと考えたため

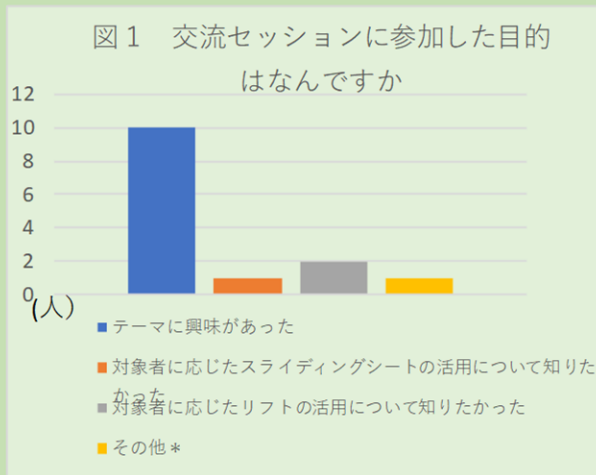
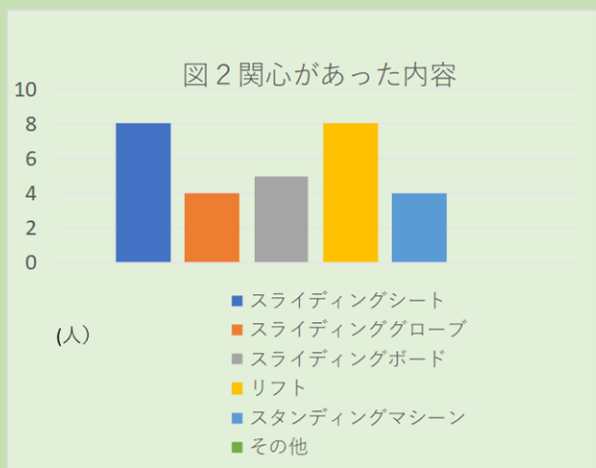


表2 移動動作技術について関心があったものすべてをえらんでください

(複数回答可、%は回答数12を分母とし算出)

内容	人	%
スライディングシート	8	67%
スライディンググローブ	4	33%
スライディングボード	5	42%
リフト	8	67%
スタンディングマシーン	4	33%
その他	0	0%



感想や希望があればご記入ください

現場では使いやすさ、手間のなさ、安価などが優先されるので、スライディングシートの活用が聞けてとても良かった。

改めて使い方や製品情報が知れました。

病院、在宅への実装について、環境にあわせていく必要があると感じました。

介護リフトの存在は知っていたが、自身で操作するものがあるとは思っていませんでした。操作ミスによる事故が起きないように、慣れるまで見守ることが必要だと思いました。

実際に目の前で見ながら説明をきくことができとても良い貴重な経験が出来ました。ありがとうございます。リフトに関しては特に大学で実際目にするということもないので良い勉強になりました。

スライディングシートの使用方法についてわかりやすく理解が深まりました。基礎教育でボディメカニクスと用具の活用について、何をどう教えるのか、さらに検討する必要があると感じました。

シートをつかったくつ下のはきかた、ぬぎかた勉強になりました

学部教育方法についてのセッションを希望します

(リフトの活用について) 日本の施設で、もっともっと普及してほしい! どうしたらよいか、、、といつも思っています。

ご参加ご協力、誠にありがとうございました。